

別記様式 8

復興庁入札等監視委員会第7回定例会議議事審議概要

開催日及び場所	平成30年7月24日(火)、復興庁本庁	
委員	阿部 博友 一橋大学大学院法学研究科教授 檜谷 隆夫 公認会計士・税理士 中里 実 東京大学大学院法学政治学研究科教授 【敬称略】	
審議対象期間	平成29年10月 1日(日)～平成30年 3月31日(土)	
抽出案件	4件	(備考)
(内 訳)		抽出事案審議の他に調達改善に係る取組について報告を行った。
競争入札		
最低価格落札方式	件	
総合評価方式	1件	
随意契約		
企画競争	3件	
公募	件	
不落・不調	件	
特命(企画競争及び公募を除く)	件	
応札(応募)業者数1者	件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答等
(契約方式) 随意契約 企画競争 (契約件名) ①平成29年度宮城サイクル ツーリズム推進事業 ②平成29年度訪日外国人観 光客向け土産品開発事業	企画競争とした理由はなにか。 説明会には何者来たのか。 説明会に複数者参加しているが、結果企画競争に参加しなかった者に対し、参加しなかった理由を確認しているか。意見聴取し、参加しなかった理由を今後の手続きの改善につなげていただければと思う。	両案件とも、業務の内容について具体的な指標を復興庁が行うことが困難であり、仕様を一律に定めることはなじまないため、ノウハウ、ネットワークを持つ民間事業者から広く募集を行い、提案内容の評価によって、最も優秀と判断される企画提案をした者と契約することが最も妥当と判断したため。 ①は5者。②は4者出席した。 複数者の参加があったため、そこまでの確認は行っていない。

	<p>公示期間が21日間。説明会から提案書提出期限までが15日間である。小規模な会社など対応が難しいと思われ、十分な期間ではなかったのではないか。その結果が評価点数のばらつきにつながるのではないか。</p> <p>予定価格の作成方法で、精査とはどんなことを行うのか。</p> <p>企画競争の審査をする委員は何か。</p> <p>公示期間を確保する点、説明会に参加し結果競争に参加しなかった者からの意見聴取する点について、今後とも調達改善につながるよう努めていただければと考える。</p>	<p>年度末などの繁忙期ではないため、妥当であると考えている。今年度の同様な企画競争においては、4月に募集をかけたため、1カ月の期間を設けている。</p> <p>特定された提案書に基づき仕様書が作成される。その仕様内容と業者からの参考見積りの内容を照らし合わせ、妥当かどうかの判断をしている。</p> <p>企画審査委員会を設置し、当局の次長を委員長とし委員全員で7名である。</p>
<p>(契約方式) 随意契約 企画競争</p> <p>(契約件名) 風評被害に苦しむ地域・旅館への新需要創出事業</p>	<p>企画競争とした理由はなにか。</p> <p>公示日が12月20日。説明会が12月27日と年末ギリギリである。3者参加したものの、説明会から提案書提出期限まで、年末年始を考えるとあまりに短いのではないか。</p> <p>説明会には何者参加したのか。</p> <p>案件によって評価点の考え方が違うが、配点方法とかの違いは何か。</p> <p>事業の内容によってやり方が違うのはよいが、統一的なやり方でも不都合はないのでは。</p>	<p>ヒアリング結果に基づき、モデルツアーを構築、検証するため、さまざまなノウハウや専門性を持っている民間事業者による提案の要素が非常に大きいことから、一律に定めることが困難ということで、企画競争方式を採用した。</p> <p>12月中旬に政府全体で、風評払拭・リスクコミュニケーション戦略が作られたものであり、このような時期での企画競争となったものである。</p> <p>8者が参加した。</p> <p>事業の内容によって、ふさわしい採点方法を取っているものと思う。事業毎に採点の細かい項目内容も異なりそれによる違いと思われる。</p> <p>例えば、2カ年のモデル事業の場合、事業を実施した後に、1年目の採点項目からインパクトや課題設定の意義などの重要性を考え、2年目の採点項目などの変更を行う事もある。</p>

	<p>先ほど同様、公示期間の確保として、季節的な要因を考慮し、提案書提出期限までの期間を十分に確保していただきたい。 また、説明会参加者のうち、結果的に参加しなかった者に意見聴取し今後の改善につなげるようにしていただきたい。</p>	
<p>(契約方式) 競争入札 総合評価方式</p> <p>(契約件名) 風評払拭・リスコミ強化のための情報整理等事業</p>	<p>総合評価落札方式を採用した理由は何か。</p> <p>低入札であり、落札率が低い が、予定価格はもっと低くできたということか。</p> <p>参加資格要件のC等級とは、どれくらいの規模か。</p> <p>予定価格の妥当性という点から、なるべく広い範囲での参考見積りの取得に尽力されたい。 また、他案件同様、公告期間の確保として、提案書提出期限までの期間を十分に確保すること、入札説明会に参加した者のうち、結果的に参加しなかった者から事情聴取し調達改善につなげるようにしていただきたい。</p>	<p>本案件は、いかに効率的・効果的に国民の皆様に対して情報発信できるかという業務である。事業者によるノウハウ・アイデアが必要であり、効率的な手法、技術能力などを評価し、価格競争による効果的な業務が行えるよう、総合評価方式を採用した。</p> <p>今回の案件は、提案書の提出のあった3者のうち、参考見積りが入手できたのは2者からであった。結果論ではあるが、このことが1つの要因かと思われる。 予定価格を基準として、役務の提供においては300万円から1,500万円未満の範囲となっている。</p>
<p>委員会による意見等の具申の内容</p>		

※必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。